



## いわさきちひろ生誕100年「Life展」 まなざしのゆくえ

大巻伸嗣

2018年3月1日(木)～5月12日(土)

主催：ちひろ美術館

協力：株式会社エイブラフト、華陽堂、菌部 秀徳、中矢 清司 (敬称略)

後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、(公社)日本図書館協会、杉並区教育委員会、西東京市教育委員会、練馬区

助成：公益財団法人花王芸術・科学財団 特別協賛：株式会社 **シヤクエツ**

いわさきちひろが大切に描いたもの—「Life」。

いわさきちひろの生誕100年にあたる2018年、いわさきちひろと、さまざまな分野で活躍する7組の作家が「Life」をテーマにコラボレートします。

### —未来に向けるまなざし

ちひろ美術館・東京は、ちひろが亡くなるまでの22年間を過ごした場所に建っています。数々の作品がうみだされたアトリエを中心に据え、ここにはちひろの記憶が色濃く残されています。大巻は、この場所のあちこちにちひろのまなざしを感じるといいます。そのまなざしの先に、いのちの尊い姿が浮かび上がってきます。大巻は、ちひろがとらえた「Life」を、インスタレーションを通じて増幅させ、わたしたちが未来に向けるまなざしと交差する空間を創出し、わたしたちに「生きる力」を喚起します。本展では、1階部分では、水面下に広がる記憶や傷跡やいのちの連なりをイメージして、2階部分では、水面上から広がるイメージの旅をイメージして、ちひろ美術館全館を使いインスタレーションを展開します。大巻のEchoes Crystallizationシリーズの新作を展示するほか、未発表のドローイングも展示します。「Life」をテーマとしながら、対照的なアプローチをおこなうちひろと大巻のコラボレーションにより、いのちを見つめる旅に誘います。

### 戦火のなかの子どもたち—Echoes-Genius Loci

Genius Loci(ゲニウスロキ)はラテン語で、Geniusは守護霊を、Lociは場所や土地を意味し、ローマ神話に登場する破壊と恵みの守護神の名でもあります。大きくうたれた窓からは、街をなめる劫火を思わせるような鮮烈な赤が広がっています。窓のなかには震災と戦争のイメージが重ねられています。さらにそこに重ね合された陶器のイメージは、失われゆく文化のメタファーとすることもできるでしょう。そこには、土地に刻み込まれた傷跡や負の記憶、そして、そこから新たに生まれる力の萌芽が感じられます。このインスタレーションでは、『戦火のなかの子どもたち』のなかから大巻自身が選んだ作品と、2011年の東日本大震災の後、大巻が眼にした被災地の光景を水彩でとらえたドローイングとともに展示しています。

1 大巻伸嗣 Echoes-Genius Loci 2017年 ©Shinji Ohmaki Studio  
いわさきちひろ 焔のなかの母と子(部分拡大) 『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)より 1973年  
撮影：椎木静寧



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団  
ちひろ美術館・東京

<https://chihiro.jp>

いわさきちひろ生誕100年サイト [100.chihiro.jp](http://100.chihiro.jp)

TEL.03-3995-0772(業務用)

お問い合わせは、広報担当：北村・中平・武石まで

## ふたりのまなざし

ちひろは終戦の翌年、疎開先の長野県松本市から単身で上京し、新聞記者として働きながら、赤松俊子（丸木俊）・丸木位里のアトリエで行われたデッサン会に参加していました。“間違えてもいいから、自分が引く一本の線に責任を持つように”という俊子の教えに導かれ、鉛筆やコンテの力強いタッチで描いています。大巻は、ちひろの素描を見るなかで、自身の模索期を思い起こしたといいます。1998年ころ、大巻は大型の立体作品やインスタレーションに意欲的に取り組みながらも、日々、自身の内面と向き合い、時に絶望しながら、心の葛藤を日記のように水性インクで描いていたとしました。未発表のこれらの作品からは知られざる大巻の一面が浮かびあがってきます。



2 大巻伸嗣 Untitled 1996～1998年（ちひろ美術館・東京の展示風景） ©Shinji Ohmaki Studio  
撮影：椎木静寧



## Echoes-Crystallization

## —ひかりの風景 ちの記憶—

本展のために大巻が制作したEchoes-Crystallizationシリーズの最新作では、ちひろのいのちの表現に重ねてイメージがつくられました。大巻が制作中に繰り返し見ていたのは、広島原爆で被爆した子どもたちが書いた文章にちひろが絵を描いた『わたしがちいさかったときに』です。大巻はちひろが見つめたいのちを、今、伝えていく必要性を切実に感じるといいます。—ひかりの風景 ちの記憶—と題したこの作品では、原爆が投下されたときの閃光、湧き上がるきのこ雲、熱線により一瞬にして影だけを残して焼失した人々、焼け焦げた人々のイメージが重ね合されています。床に映る植物の影は一瞬にして奪われた夥しい数の人々の生の痕跡のようにも見えます。この作品に合わせて大巻は、ちひろが描いた黒いダリヤの絵を選び、あわせて展示をしています。



3 いわさきちひろ ダリヤ 『花の童話集』(童心社)より 1969年

4 大巻伸嗣 Echoes-Crystallization—ひかりの風景 ちの記憶— 2018年 ©Shinji Ohmaki Studio  
撮影：椎木静寧

## いわさきちひろ

1918年～1974年

福井県武生町（現・越前市）に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。1950年、紙芝居『お母さんの話』を出版、文部大臣賞受賞。同年、松本善明と結婚、翌年、長男猛を出産。1956年小学館児童文化賞、1961年産経児童出版文化賞、1973年『こどりのくるひ』（至光社）でポローニャ国際児童図書展グラフィック賞を受賞。1974年肝臓ガンのため死去。享年55歳。



【コラボレーション作家】

## 大巻伸嗣（おおまきしんじ）

1971年～

岐阜県生まれ。現代美術作家。東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。東京藝術大学美術学部彫刻科、GAP専攻教授。「空間」「時間」「重力」「記憶」をキーワードに、“物質と空間・存在”をテーマとして制作活動を展開。見ることのできないものを可視化し、体感させることで、新たな身体的、知覚的空間を作り出すことを試みる。空間を非日常的な世界に変容させ、鑑賞者の身体感覚を呼び覚ますダイナミックなインスタレーション作品を発表。



## 想像の海へ—Grand Voyage

いわさきちひろは、生涯、あらゆる子どもの姿を描き続けました。そこには、子どもを見つめるあたたかなまなざしとともに、子どもと響き合うみずみずしい感性が感じられます。ちひろは、平和だった子ども時代の心を失わず、空想の世界に翼を伸ばし、さまざまな物語を自由な感覚で描いています。2階部分には7艘の舟が浮かんでいます。展示室のなかの舟には実際に乗ることができます。舟に乗って夜明け前の暗い海に漕ぎ出し、古の人々が夜空にまたたく星をつないで星座の物語を想像したように、ちひろの絵を見て、あなた自身の物語を紡いでください。大巻の作品、Grand-Voyage:Passage and Timeとドローイングも合わせて展示しています。



5 大巻伸嗣 Grand-Voyage:Passage and Time 2014年 (ちひろ美術館・東京の展示風景)  
©Shinji Ohmaki Studio 撮影: 椎木静寧



6 いわさきちひろ 月を見る少年 1970年



7-8 まなざしのゆくえ 大巻伸嗣 ちひろ美術館・東京 展示風景(2階部分)



©Shinji Ohmaki Studio 撮影: 椎木静寧

### ●Life展パスポート

すべての「Life展」に入館できるパスポート1000円  
販売場所: ちひろ美術館 (東京・安曇野)

### ●関連書籍

『いわさきちひろ生誕100年 Life Chihiro Iwasaki 100』  
大巻伸嗣のインタビューも収録。  
2018年3月1日刊行予定 1300円(税別)

### 会期中のイベント

#### ●大巻伸嗣によるアーティストトーク

4/21(土) 15:00～  
定員:60名 参加費:600円(入館料別)  
※要申し込み 3/21受付開始

### ●松本猛ギャラリートーク

4/1(日) 15:30～ ※参加自由、無料

### ●わらべうたあそび

4/21(土) 11:00～11:40  
講師: 服部雅子 (西東京市もぐらの会代表・はとさん文庫主宰)  
定員: 15組30名 参加費: 無料(入館料別)  
対象: 0～2歳までの乳幼児と保護者  
※要申し込み 3/21受付開始

### ●ギャラリートーク

毎月第2・4土曜日 14:00～14:40 ※参加自由、無料

### ●えほんのじかん

毎月第1・3土曜日 11:00～ ※参加自由、無料

### 次回展示予告

●いわさきちひろ生誕100年「Life展」  
着るをたのしむ  
spoken words project (ファッションブランド)  
2018年5月19日～7月22日

### お問い合わせ

本展覧会をご紹介いただける場合に、リリース内に掲載の作品画像データをお貸し出いたします。ご希望の場合は、下記担当までご連絡ください。

●展示会期...2018年3月1日(木)～5月12日(土)

●開館時間...10:00～17:00(入館は閉館の30分前まで)

●休館日.....月曜日(祝休日は開館、翌平日休館 ※4/30と5/7は開館)

●入館料.....大人800円/高校生以下無料

団体(有料入館者10名以上)、65歳以上の方、学生証をご提示の方、公式WEBサイト割引特典提示の方は700円/障害者手帳ご提示の方は400円、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円/Life展パスポート1000円

●交通.....

◎西武新宿線上井草駅下車徒歩7分

◎JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分

◎西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分

◎駐車場あり(乗用車3台・身障者用1台)



9 いわさきちひろ 木の葉にすわる子ども 1966年



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

<https://chihiro.jp/> いわさきちひろ生誕100年サイト [100.chihiro.jp](http://100.chihiro.jp)

お問い合わせは、広報担当: 北村・中平・武石まで Email: [publicity@chihiro.or.jp](mailto:publicity@chihiro.or.jp)

テレホンガイド 03-3995-3001 03-3995-0612(代表) FAX 03-3995-0680